

# 医療トピックス

税理士法人 長谷川会計

〒733-0822 広島市西区庚午中 2-11-1  
 TEL 082-272-5868  
 URL <http://www.hasegawakaikai.com/>



## 安全管理

### リスクへの感性を磨く医療現場の“KYT”



職員一人ひとりが、潜在的なリスクを敏感に察知し、危険が小さいうちに対処できるようになるための危険予知トレーニング（KYT：Kiken Yochi Training）があります。もともとは産業界で労働災害防止のために実施されてきたもので、医療現場にも2000年ごろから導入されるようになりました。職員一人ひとりのリスク感性を高め、危険が小さいうちに対処することができる職場をつくりたいものです。

#### 1. KYTの基礎4ラウンド法

KYTは、日常業務場面のイラストや写真のシートなどを使って、少人数のグループになりリーダーと書記を決め、次のような4ラウンドのワーク形式で行います。

現状把握	本質追及	対策樹立	目標設定
シートを見ながらどのような危険が潜んでいると思うか、危険要因を「質より量」で出し合い、その危険要因を「～すると、～して、～になる」というように文章にする。	で書き出された危険ストーリーの中から重要だと思えるものを、特に重要だと思われるものにを付ける。	印の重要危険要因について、リーダーが「危険が現実のものにならないようにするにはどうすればよいか」を問いかけ、メンバーが具体的な予防対策を自由に挙げていく。	で挙げられた対策の中から、現実的で実効性のあるものを全員のコンセンサスで選ぶ。「安全行動目標」を短い言葉で決め、チームで「指差し唱和」等をして、皆で行動していくことを確認する。

#### 2. 医療安全研修等で継続的な実践を

KYTでは、スタッフ自身がリスクを見つけ、予防策も考えるので、現実的で実行可能な対策を立案することができます。

職種や経験を問わず、誰でも対等な立場でグループワークに参加して、率直に意見を交わすことができる場とすることで、新人研修や医療安全研修の一環としても役立ちます。

また、職種混合のグループで行うと、多角的な視点からの意見が出ることや、他職種の人との交流ができるなどのメリットもあります。

KYTを継続的に行うことによって、職員一人ひとりのリスク感性が磨かれていきます。院内を自分たちで撮影した写真や、書籍やWEBで提供されているイラストなどを使って、ぜひ実践してみてください。